

弘道館講座 江戸時代の学問所で楽しむ落語の世界 和ろうそくの灯りのもとで聴く

吉坊 ゆらり 咄 ツメ人情



主催 公益財団法人 有斐斎弘道館

二〇一七年

七月一日【土】

十八時半開演（十八時開場・呈茶）

「お前らツメ人形見てると、自分の姿見るよう
で好きやねん」

お人好しやが腕がない。そんな人形遣い補助を、
師匠は齒がゆくも見守る。お節介な人形遣いの
奮闘のかいあって、

大阪の御堂文楽座を舞台に、人形遣いの世界
を垣間見る？一席をお楽しみください。

番組

呈茶

テーマに合わせて特別につくら
れる菓子をお楽しみください

落語

桂吉坊による「ツメ人情」

トーク

落語「ツメ人情」と芝居「太坊
記十段目」をテーマに桂吉坊と
ゲスト木ノ下裕一が語りつくす

会費

三五〇〇円（茶菓子代込）

会場

有斐斎弘道館

京都市上京区上長者町通新町東入ル
元土御門町五二四・一

申込

〇七五・四四一・六六六二
kouza@kodo-kan.com

桂吉坊 かつらさちぼう

一九八一年兵庫県生まれ。一九九九年、桂吉坊入門。二〇〇〇年よ
り3年間、桂米朝のもとで内弟子修業。以後、古典落語を中心に舞台を
重なる。二〇〇七年には「地獄八景 浮世百景」で役者としてもデビュー。
二〇一一年、咲くやこの花賞大衆芸能部門受賞。

木ノ下裕一 きのしたゆういち

一九八五年和歌山市生まれ。小学校三年生の時、上方落語を聞き衝撃を
受けると同時に独学で落語を始め、その後現代の舞台芸術および古典演
目上演の演出や監督を自らが行う木ノ下歌舞伎を旗揚げ、その他、古典
芸能に関する執筆や講演など、多岐にわたって活躍中。